

2024 物流問題に対する取り組みと問題点

八戸農業協同組合

1. 八戸農業協同組合の概要と農産物の流通について

八戸農業協同組合「以下 J A 八戸」は八戸市、三戸郡全てを管轄しており、海岸部から山間部まで多種多様な作物や畜産物を取り扱っています。「米」をはじめ主力の「ながいも」、「にんにく」夏秋野菜の「トマト」、「ピーマン」、「きゅうり」等、又「果樹」、「花き」、「畜産」等で約 87 億円の販売取扱額があります。

これらの農畜産物は、北海道から九州まで出荷されており、2024 物流問題に伴い以前より取り組んできたものの課題も多く出てきています。又、流通についてはトラックが主体で一部 J R 貨物の利用もあります。試験的に八戸港発の貨物フェリーも取り組みましたが、現在は利用していません。

物流側にだけ負担を強いる訳にはいかず頻繁に交渉し品目毎に何回も値上げして対応してきました。

2. 取り組みと課題について

(1) トラック待機時間の短縮について

- 取り組み…バラ積みからパレット積み込み輸送に転換
- 問題点…全国統一規格（110×110）だと積載効率が悪い。
 - …積載量が少ないため 1 箱当たりの価格が上昇。
 - …品目毎に D B の規格が違うので組み合わせが困難。
- ※対応策…120×100 のパレット検討（積載効率アップのため）

(2) パレットの確保

- 取り組み…レンタルパレットの導入。
- 問題点…多額のレンタル料が発生。

(3) 荷造り、積み込み作業

- 取り組み… J A で作業員確保。もしくは外部委託。
- 問題点…作業賃金の発生と負担。

(4) 積み込み場所の制限

- 取り組み…今までの制限なしから 2 カ所積みへの対応。
- 問題点…横持ち用トラック確保（トラック確保と運賃発生。人員の確保）

(5) 荷下ろし場所の制限

- 取組み…今までは3カ所下ろしから2カ所下ろしに変更。
- 問題点…取引市場の集約により販売戦略が難しい。(販売先の選択肢減少)
…取引市場や量販店のニーズに対応できない。

(6) 集荷から市場到着日が延びる

- 取組み…積載率向上のため出荷量を確保、又規格チェックのため翌日出荷。
- 問題点…鮮度、品質保持に対する不安。(クレーム対応や価格低下リスク)

(7) トラック積み込み時の積載量確保

- 取組み…品目の出荷規格(等階級)の混載。
- 問題点…送り状と市場仕切りの誤差。(生産者への精算作業の遅れ)

※以上のような対応と課題が出されたが、実際は全て費用の増加でJA又生産者の更なる負担増となっている。全て対応で1億円以上と見込んでいる。

※物流だけでなく、農業用資材、油類、電気代等の高騰により生産者手取額が減少している。国では食料安全保障について真剣に取り組み、農畜産物の価格転嫁を早期に検討してもらいたい。又、農産物の等階級規格についても全国的に思い切った簡素化に取り組む必要性を感じる。